2024年俳ソサエティ「新春Skype句会」結果と寸評（2024-1-20土）						
番号	作　　品	作者	得　点			
			天	選	点	コメント
1	温泉(ゆ)の宿の塗の小椀の晦日蕎麦	きみ女		双掌	1	地名が加わると魅力が増すのでは？
2	しゃぶしゃぶの〆(しめ)は年越し蕎麦となる	明陽			0	「健啖家」ならではの一句
3	晦日蕎麦よそひ肩の荷おろしけり	みほ女	井・輪		6	一年のご苦労の吐露への共感も
4	雨催ひふくら雀のよちよちと	井静			0	下五がふくら雀にそぐわぬとの異論も
5	晦日蕎麦ひと箸ごとのもの想ひ	双掌			0	「もの想ひ」に一工夫ありたし。
6	黄芯菜むしろの上で微睡めり	輪院		荒・明	2	上五で作者が判明。
7	世の隅に居て省思する晦蕎麦	荒人	みほ女		3	「世の隅」には違和感多そうでした
8	子ら帰り老の二人の寝正月	申山		き・輪	2	時間の経緯が不自然では？
9	元日や次は何処に大地震	きみ女			0	災禍への恐れのようなものが欲しいところ
10	晦日そば今宵は温いほうがいい	輪院	きみ女		3	蕎麦の温かいのは食べないという人あり
11	完読す寒析(かんたく)耳にかすかなり	明陽		井・み	2	寒析の聞こえ方をめぐり侃々諤々
12	異界への扉軋むや虎落笛	双掌		荒人	1	いささか大仰な表現
13	老母にはちぎりて入るる雑煮餅	みほ女		き・双	2	「老ひし母に」とするか？
14	荊妻(けいさい)と言葉少なに晦日そば	申山		明陽	1	上五が重すぎぬか
15	縮こまる親追ふ子らの息白し	荒人			0	縮こまるの上五はいかがなものか
16	地震(ない)襲ふ初春の宴(えん)をことほぎを	みほ女			0	畳みかける強震への畏怖。
17	七草の名の麗しきとくにすずしろ	井静		申山	1	中七は「名の麗しや」と「切る」のが良い
18	甲辰の年始に祈る世の平安	荒人			0	彼の地の戦争・能登の地震。もう許して
19	初暦まず医通いの丸印	双掌	荒人	井・申	5	老いることの惨さをサラリと。
20	古稀の子と白寿の母と日向ぼこ	きみ女	申山	輪	4	古稀の子は「古稀の吾」が
21	雪しとと壊滅的な地震(ない)の地に	明陽			0	中七に違和感ありの意見も
22	若潮を汲める能登の海(み)還らざる	申山	明・双		6	令和6年能登半島地震へのオマージュ
23	晦日蕎麦腹の底から温き夜	井静		みほ女	1	これが幸せというもの
24	冬震災「終活」なんてどうとなれ	輪院			0	そういう受け止め方もあるか

天賞　　笠原申山　　9点
【若潮を汲める能登の海還らざる】　6点
【子ら帰り老の二人の寝正月】　2点
【荊妻と言葉少なに晦日そば】　1点

地賞　　佐々みほ女　　8点
【晦日蕎麦よそひ肩の荷おろしけり】6点
【老母にはちぎりて入るる雑煮餅】　2点

人賞　　黒柳双掌　　6点
【初暦まず医通いの丸印】　5点
【異界への扉軋むや虎落笛】　1点

最多得点句　笠原申山　　6点
【若潮を汲める能登の海還らざる】

同　　佐々みほ女　　5点
【晦日蕎麦よそひ肩の荷おろしけり】

【寸評】
新型コロナ禍で導入したリモート句会も回を重ね、どうやら順調に進行できるようになりました。一句に用いられる語彙と、これに込めた感興とが会員諸兄姉で共有しきれないという部分で厳しい論議にもなりますが、これも句会の楽しみの一つといえるのでしょう。
「俳ソサエティ句集」については、ほぼ皆さまのご同意を得られましたが、出句を30とするのは負担過重というご意見も聞かれ、なお調整が必要なようです。併せて、句集のタイトルについてもご意見あればお聞かせくだされば幸いです。
なお、次回句会は、4月19日(金)、井の頭公園吟行です。